

(様式例)

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業内容に精選により、生徒の興味・関心を深め、主体的に学習する生徒が増えた。
- ・授業の学習課題を明確にし、達成感をもたせることができた。
- ・グループワークを取り入れ、他者との関わりの中で自分の意見を表現することができた。

(2) 課題

- ・生徒によって知識・技能の定着に差がある。
- ・地図、年表、雨温図、統計など様々な資料を読み取る力を、さらに強化する。
- ・資料の読み取りなどから、自分の考えをまとめ表現する力を伸ばす必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	達成率は、全国・区ともに上回っている。		
第2学年	達成率は、全国・区ともに若干下回っている。	達成率を上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	達成率を上回っている。	達成率を上回っている。 (第2学年時)	達成率を上回っている (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を、かなり上回っている。全国平均よりも、高い。	目標値を、かなり上回っている。全国平均よりも、高い。	目標値を、かなり上回っている。全国平均よりも、高い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を、若干下回っている。	3観点中、唯一区の平均を上回っているが、全国の平均には及ばない。	目標値を、若干下回っている

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値をわずかに上回っているが全国平均と比べると低い。	目標値や全国平均に比べて高くなっている。 記述式の問題を苦手とする生徒が一定数いる。	目標値や全国平均に比べて高くなっている。

--	--	--

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っているが、地理的分野において苦手意識がみられるため、全ての基本となる、基礎的な知識の定着のため、反復学習を中心に、授業展開の改善を行う。	目標値を大きく上回っているため、引き続き資料活用の問題や記述式の問いを授業内で設定する。	各授業の目標に対して、授業の最後に自己評価を行う。積極的に取り組んでいる姿勢を評価し、やる気を喚起する。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理的分野と歴史的分野ともに1年次の復習的な部分が弱く、直近の学習については目標値を上回った。復習テストを繰り返すことにより、知識の定着を図る必要がある。	区の目標値を若干上回っているため、各単元での資料活用や論理的思考の鍛錬が結果に繋がっている。この状態を崩さないように、学習を進める。	学習に取り組む姿勢はすべての基本になるため、授業改善により意識を高めていきたい。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史的分野の知識・技能を伸ばしていく必要がある。授業内容の要点をまとめ、授業内で定着させるべき知識や技能を明確にする。また、単元ごとに小テストを実施し自分の苦手とする分野を明らかにして学習内容の定着につなげていく。	歴史的分野の思考・判断・表現を伸ばしていく必要がある。記述式や知識を活用する問題に対して苦手意識を持っている生徒が分析で判明したので、授業内で資料の読み取りからどんなことが考えられるのか表現する機会を設け、思考・判断・表現力を伸ばしていく。	授業で達成すべき目標を提示して、達成の度合いを自己評価させる。また、学習内容に対して疑問に思っていること、興味を持ったことなど調べまとめる活動を取り入れ、主体的に学ぶ機会を設ける。